

大型低温重力波望遠鏡(KAGRA)工事

施設管理者 : 東京大学宇宙線研究所
施設所在地 : 岐阜県飛騨市神岡町
調査見学時期 : 平成 25 年 9 月 24 日 (火)

工事概要

アインシュタインの最後の宿題といわれる「重力波」を直接検出しようとする施設が「大型低温重力波望遠鏡」(KAGRA-Kamioka Gravitational Wave)です。

東京大学宇宙線研究所の重力波研究グループは、「重力波」の世界に先駆けて直接検出すべく、それを将来の「重力波による天体観測」の創生につなげるため、この施設を建設しているものです。見学したときは、全線掘削完了まであと少しの段階でしたが、出水が多いにも拘わらず、工事が進むさまは、ダイナミックでとても迫力がありました。(GECニュース第292号より抜粋)



掘削中の KAGRA トンネル